

# J-クレジット制度 プロジェクト計画書 （排出削減プロジェクト用）

---

プロジェクトの名称：

靴のホッタにおける照明器具取替えによる省エネルギー事業

プロジェクト 実施者名	株式会社 靴のホッタ
----------------	------------

妥当性確認申請日 2016年 2月 25日

プロジェクト登録申請日 2016年 3月 23日

## 1 プロジェクト実施者の情報

### 1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	(フリガナ) カブシキガイシャ クツノホッタ
	株式会社 靴のホッタ
住所	愛知県清須市花水木 1-9-8

### 1.2 プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者 ※1

実施者名	(フリガナ)
住所	

※1 複数のプロジェクト実施者が参加する場合には、欄をコピーしてそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載すること。

### 1.3 J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ)
住所	

※1 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2~4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

## 2 プロジェクト概要

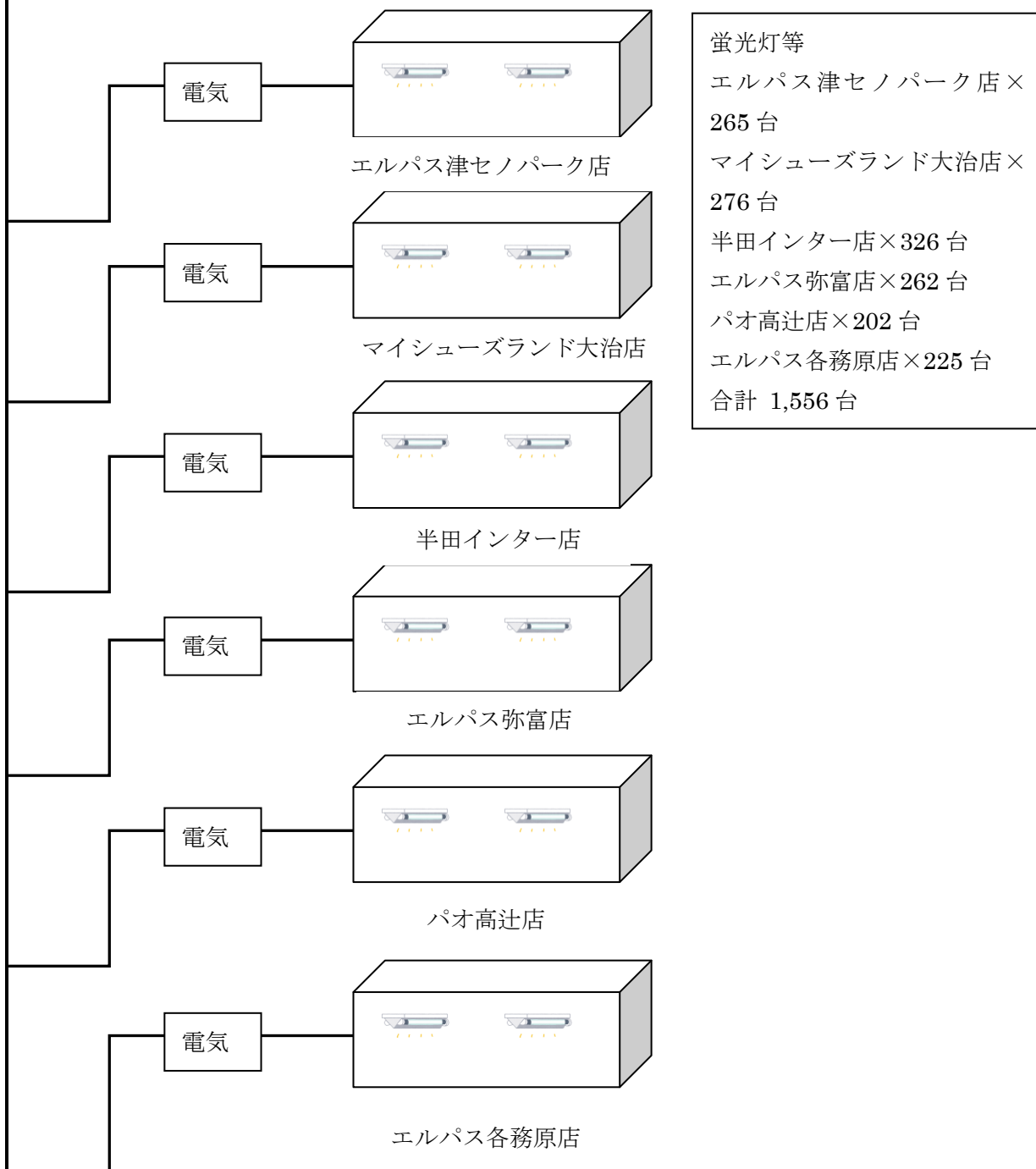
### 2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	靴のホッタにおける照明器具取替えによる省エネルギー事業	
目的	照明器具を取替え、電力消費量を削減することで、二酸化炭素排出量の削減を行う。	
概要（削減方法）	靴のホッタが経営するシューズショップ6店舗（エルパス津セノパーク店・マイシューズランド大治店・半田インター店・エルパス弥富店・パオ高辻店・エルパス各務原店）の照明設備を蛍光灯から高効率照明へ更新することで、省エネルギー化を行い、二酸化炭素排出量を削減する。	
プロジェクト実施場所	実施事業所名	エルパス津セノパーク店
	住所	三重県津市栗真小川町 533-1 津セノパーク内
	実施事業所名	マイシューズランド大治店
	住所	愛知県海部郡大治町堀の内字大堀 1 9 2-1
	実施事業所名	半田インター店
	住所	愛知県半田市山代町 1 丁目 102 番 6
	実施事業所名	エルパス弥富店
	住所	愛知県弥富市五明町蒲原 1371-4 イオンタウン弥富内
	実施事業所名	パオ高辻店
	住所	愛知県名古屋市中区昭和区白金 3-6-24 フィールシャ ンピアポート店内 2F
	実施事業所名	エルパス各務原店
	住所	岐阜県各務原市蘇原花園町 2-38 ロックタウン各 務原 SC 内

## 2.2 プロジェクト実施前後の状況

(プロジェクト実施前の概要図※1) :

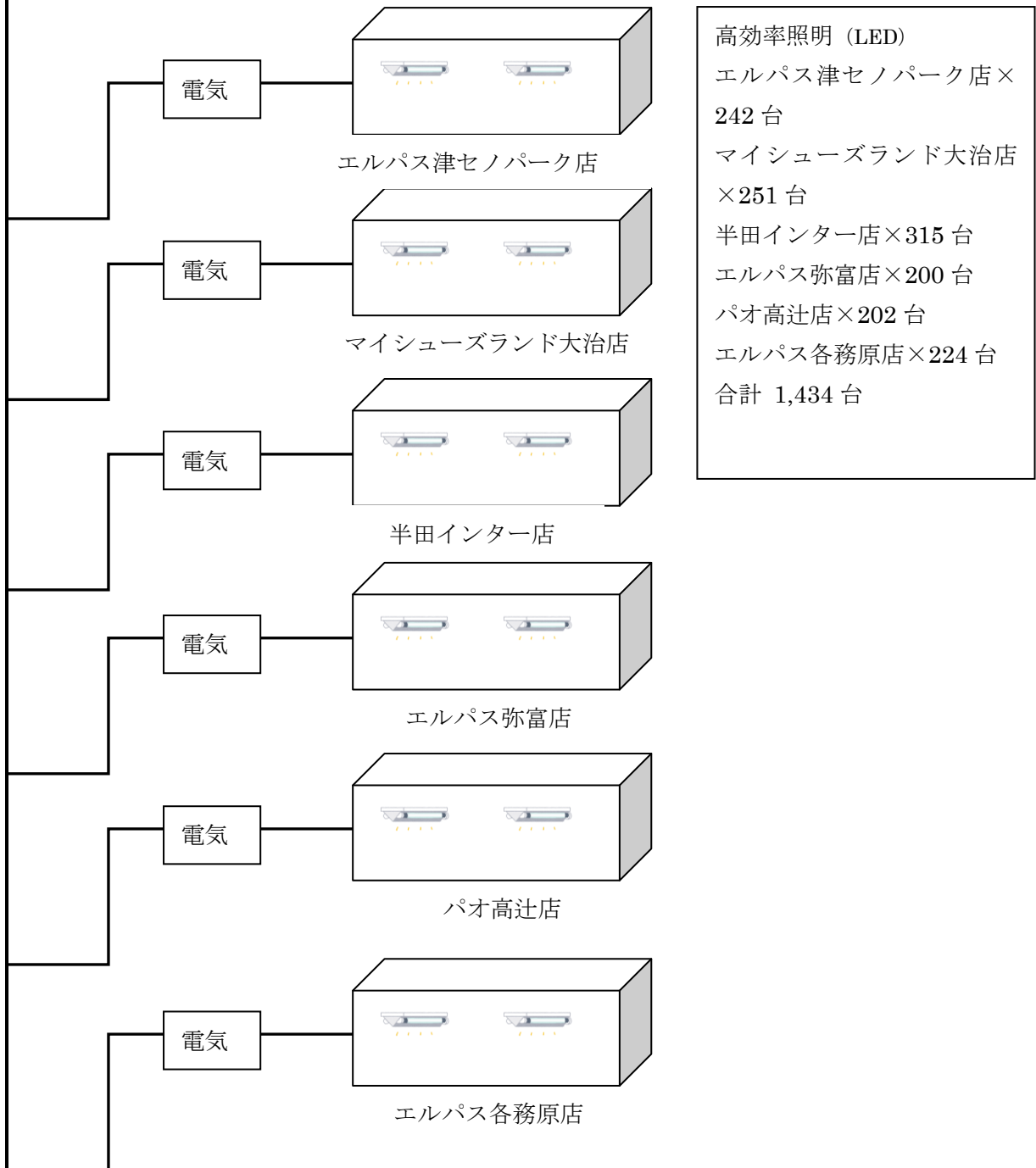
(照明設備の更新)



※1 詳細な設備情報は別紙 (A.1) に記載すること。ただし、設備の種別、台数、燃料、出力等の情報は図中に記載すること (具体的な記載範囲は記載例参照)。また、新設プロジェクト又は国内クレジット制度若しくはオフセット・クレジット (J-VER) 制度から移行したプロジェクトの場合にはベースラインとして設定した標準的な設備の情報を記載すること。

(プロジェクト実施後の概要図 ※2) :

(照明設備の更新)



※2 詳細な設備情報は別紙 (A.1) に記載すること。ただし、設備の種別、台数、燃料、出力等の情報は図中に記載すること (具体的な記載範囲は記載例参照)。

## 2.3 プロジェクト要件への適合

プロジェクトの実施日 ※1	■2013年4月以降に実施されたプロジェクトである □2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない ※2 □2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3
追加性	■追加性を有している ※4

※1 「プロジェクトの実施日」とは、設備の稼働日や燃料の切替えを行った日を指す。

※2 2013年度中に限り J-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 国内クレジット制度又はオフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「2013年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。ただし、標準的な設備をベースラインとして設定する必要がある。

※4 追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.2）に示すこと。方法論の7. 付記において、追加性の評価が不要とされているもの（ポジティブリスト）については、別紙（A.2）の記入は不要。

### 3 方法論

#### 3.1 適用方法論

照明設備の導入

適用する方法論	方法論番号	EN-S-006 ver. 1.1
	方法論名称	照明設備の導入
更新／新設 ※1	<input checked="" type="checkbox"/> 更新プロジェクト <input type="checkbox"/> 新設プロジェクト	

#### 3.2 方法論の適用条件への適合 ※1

照明設備の導入

条件 1	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<p>説明</p> <p>更新前の照明設備(蛍光灯)よりも省電力の照明設備(LED)を導入しているため条件 1 を満たす。</p> <p>また①更新前の照明設備の情報が取得でき (6 店舗合計 : 1,556 台、消費電力合計 98.147kW)、②更新前の設備の導入日は、</p> <table border="0"> <tr> <td>エルパス津セノパーク店</td> <td>2006 年 11 月</td> </tr> <tr> <td>マイシューズランド大治店</td> <td>2006 年 3 月</td> </tr> <tr> <td>半田インター店</td> <td>2013 年 10 月</td> </tr> <tr> <td>エルパス弥富店</td> <td>2000 年 9 月</td> </tr> <tr> <td>パオ高辻店</td> <td>2003 年 10 月</td> </tr> <tr> <td>エルパス各務原店</td> <td>2004 年 3 月</td> </tr> </table> <p>であるため、更新前の設備の使用期間は法定耐用年数の 2 倍 (30 年) 以内であり、入れ替え時も稼働していたことから故障による更新ではない。</p>	エルパス津セノパーク店	2006 年 11 月	マイシューズランド大治店	2006 年 3 月	半田インター店	2013 年 10 月	エルパス弥富店	2000 年 9 月	パオ高辻店	2003 年 10 月	エルパス各務原店	2004 年 3 月
エルパス津セノパーク店	2006 年 11 月													
マイシューズランド大治店	2006 年 3 月													
半田インター店	2013 年 10 月													
エルパス弥富店	2000 年 9 月													
パオ高辻店	2003 年 10 月													
エルパス各務原店	2004 年 3 月													

※1 記載内容に関する根拠資料や関連情報等について、妥当性確認機関からの要求に応じて情報提供を行うこと。

#### 3.3 モニタリング・算定方法

ベースライン排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	照明設備の使用	CO2	—	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う

プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	照明設備の使用	CO2	—	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う

※1 各排出活動の排出量算定方法及び影響度の算定方法については別紙 (A.3) に記載すること。

※2 モニタリング方法については別紙 (A.4) に記載すること。

#### 4 排出削減計画

(エルパス津セノパーク店)

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	33.3 t-CO2	24.2 t-CO2	9 t-CO2
	2017年度	32.9 t-CO2	23.9 t-CO2	9 t-CO2
	2018年度	32.7 t-CO2	23.7 t-CO2	9 t-CO2
	2019年度	32.5 t-CO2	23.5 t-CO2	9 t-CO2
	2020年度	32.5 t-CO2	23.5 t-CO2	9 t-CO2
	合計	163.9 t-CO2	118.8 t-CO2	45 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由 (以下に記載すること)			

(マイシューブランド大治店)

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	35.2 t-CO2	25.4 t-CO2	9 t-CO2
	2017年度	34.7 t-CO2	25.1 t-CO2	9 t-CO2
	2018年度	34.5 t-CO2	24.9 t-CO2	9 t-CO2
	2019年度	34.2 t-CO2	24.8 t-CO2	9 t-CO2
	2020年度	34.2 t-CO2	24.8 t-CO2	9 t-CO2
	合計	172.8 t-CO2	125.0 t-CO2	45 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由 (以下に記載すること)			



(半田インター店)

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	44.7 t-CO2	31.8 t-CO2	12 t-CO2
	2017年度	44.1 t-CO2	31.4 t-CO2	12 t-CO2
	2018年度	43.8 t-CO2	31.2 t-CO2	12 t-CO2
	2019年度	43.5 t-CO2	31.0 t-CO2	12 t-CO2
	2020年度	43.5 t-CO2	31.0 t-CO2	12 t-CO2
	合計	219.6 t-CO2	156.4 t-CO2	60 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由 (以下に記載すること)			

(エルパス弥富店)

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	35.5 t-CO2	22.8 t-CO2	12 t-CO2
	2017年度	35.0 t-CO2	22.5 t-CO2	12 t-CO2
	2018年度	34.8 t-CO2	22.4 t-CO2	12 t-CO2
	2019年度	34.5 t-CO2	22.2 t-CO2	12 t-CO2
	2020年度	34.5 t-CO2	22.2 t-CO2	12 t-CO2
	合計	174.3 t-CO2	112.1 t-CO2	60 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由 (以下に記載すること)			

(パオ高辻店)

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	30.3 t-CO2	22.9 t-CO2	7 t-CO2
	2017年度	29.9 t-CO2	22.6 t-CO2	7 t-CO2
	2018年度	29.7 t-CO2	22.5 t-CO2	7 t-CO2
	2019年度	29.5 t-CO2	22.3 t-CO2	7 t-CO2
	2020年度	29.5 t-CO2	22.3 t-CO2	7 t-CO2
	合計	148.9 t-CO2	112.6 t-CO2	35 t-CO2
年度ごとに排出削減量 が異なる場合の理由	■電力のCO2排出係数の影響による □その他の理由 (以下に記載すること)			

(エルパス各務原店)

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	30.8 t-CO2	23.2 t-CO2	7 t-CO2
	2017年度	30.4 t-CO2	22.9 t-CO2	7 t-CO2
	2018年度	30.2 t-CO2	22.7 t-CO2	7 t-CO2
	2019年度	30.0 t-CO2	22.6 t-CO2	7 t-CO2
	2020年度	30.0 t-CO2	22.6 t-CO2	7 t-CO2
	合計	151.4 t-CO2	114.0 t-CO2	35 t-CO2
年度ごとに排出削減量 が異なる場合の理由	■電力のCO2排出係数の影響による □その他の理由 (以下に記載すること)			

合計

認証予定期間 ※1	2016年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日 (5年0ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	209.8 t-CO2	150.3 t-CO2	56 t-CO2
	2017年度	207.0 t-CO2	148.4 t-CO2	56 t-CO2
	2018年度	205.6 t-CO2	147.4 t-CO2	56 t-CO2
	2019年度	204.2 t-CO2	146.4 t-CO2	56 t-CO2
	2020年度	204.2 t-CO2	146.4 t-CO2	56 t-CO2
	合計	1,030.7 t-CO2	738.9 t-CO2	280 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由 (以下に記載すること)			

※1 認証予定期間は、プロジェクト登録の申請予定日若しくはモニタリングが可能となる予定日のいずれか遅い日から 2021年3月31日までの間で設定すること。

※2 排出削減量の算定方法については、別紙 A.3 に記載すること。

## 5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

### 5.1 モニタリング体制

照明設備の導入

データ管理責任者 ※1	専務取締役
モニタリング担当者 ※1	店舗店長

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

### 5.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	<ul style="list-style-type: none"><li>・モニタリング担当者は店舗の稼働日を営業カレンダーより確認して記録、管理する。</li><li>・照明の稼働時間は各店舗毎の営業時間を基準とすることで保守的に設定し、営業カレンダーより確認し保管する。</li><li>・プロジェクト実施前後の照明設備の仕様書等を保管する。</li></ul>
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後 <u> 2 </u> 年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。

※2 原則認証対象期間終了後2年間とする。

## 6 特記事項

### 6.1 排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクがあるか

有 無

※1 プロジェクト排出量が増加し、ベースライン排出量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	

### 6.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。

登録している

(類似制度名： \_\_\_\_\_)

類似制度での認証予定期間： \_\_\_\_\_ )

登録していない

### 6.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。

法令等の義務履行によるものではない。

法令等の義務履行によるものである。